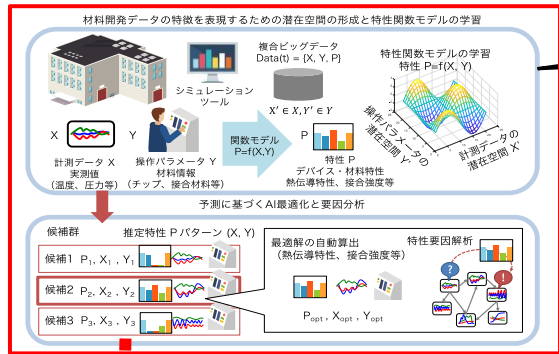


# Beyond5Gの高速通信・低遅延等に適したエッジ AIソフトウェアの開発と動作実証に関する研究開発

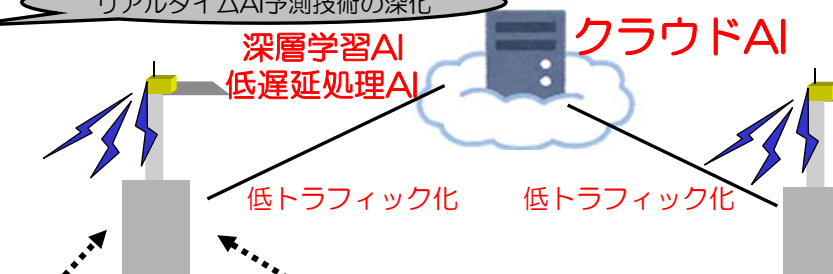
**研究概要：** 本研究開発は、代表研究者らが優位性を持っているリアルタイムAI予測技術をエッジAIチップに搭載できるソフトウェア技術に発展させ、次世代パワー半導体の故障予測システムの構築してソフトウェアの実証展開と複数企業の産業分野へ実証展開させる。エッジAI処理によるデータ通信トラフィックの負荷低減と低遅延AI予測を同時に達成することで、2030年頃には製造業IoTに商用導入、またBeyond5G時代の通信電波帯並びに現在の電波帯での世界のデジタルデータ量増加予測に対し、10~30%の低減を目指すとともに、10~30%の通信電力削減効果並びに、産業界の生産性向上に資することを目指す。

研究開発課題：エッジAIソフトウェア開発



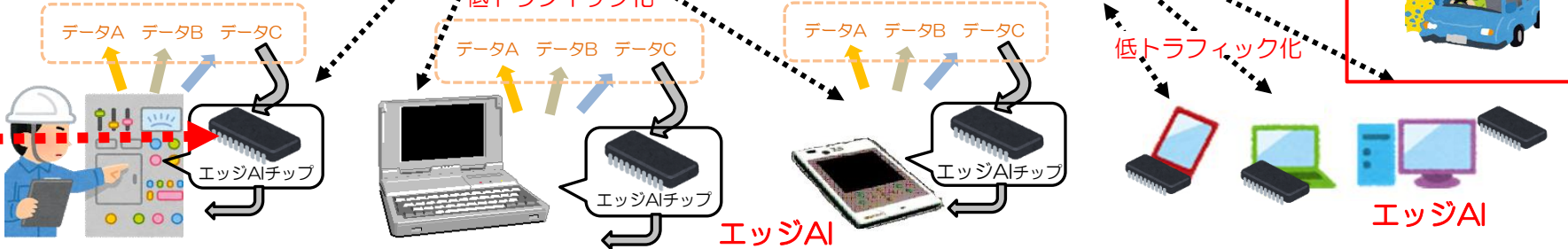
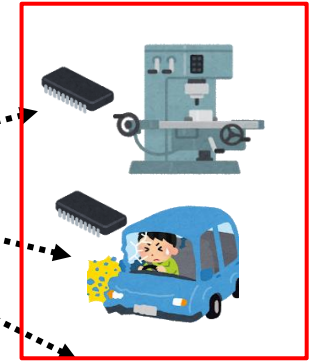
特徴量自動抽出技術の深化

リアルタイムAI予測技術の深化



研究開発課題：

- エッジAIの産業IoT動作実証研究
- エッジAI車載デバイス動作実証研究



**【契約期間】** 令和3年度～令和4年度（ステージゲート評価予定） **【契約総額】** 約0.5億円

**【受託者】** 国立大学法人大阪大学（代表研究者）